

町教育委員会指導 主事に佐藤さん

本年4月より、町教育委員会の指導主事として勤務することになった佐藤英夫さん（大内）を紹介します。



「平成14年度以来の那珂川町での勤務となります。

教育行政の立場での勤務となりますが、教育を支えるのは学校だと考えています。行政と教育現場の橋渡し役として、町の教育振興の役に立てよう努力したいと考えています。

行政相談委員に 荒井さん

馬頭地区担当の行政相談委員に荒井進さん（矢又）が4月1日付で、総務大臣から委嘱されました。



行政に関する苦情や意見・要望がありましたら、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ 総務課行政係
0287・92・1111



町の行政相談委員

荒井 進（矢又） ☎0287-92-3490
守谷 次男（小川） ☎0287-96-3169

行政相談の会場

毎月第3水曜日（馬頭総合福祉センター）
毎月第4水曜日（すこやか共生館）

受付は、いつでも午前9時30分～11時30分となります。

「人権擁護委員の日」

特設人権相談所の開設

6月1日は人権擁護委員法の施行日です。全国人権擁護委員連合会はこの日を「人権擁護委員の日」と決めて、なお一層の人権思想の啓発に努めています。

那珂川町には次の7名の人権擁護委員がおります。

長谷川久夫（小川） ☎0287-96-2565
大金 進（大内） ☎0287-92-3869
高林 和男（大山田下郷） ☎0287-93-0102
高田 敬（馬頭） ☎0287-92-2370
岡 豊子（久那瀬） ☎0287-92-5604
薄井 忠恵（小川） ☎0287-96-4398
岸 礼美（片平） ☎0287-96-2616

人権擁護委員は、特設相談所において月2回（第2・第3水曜日）と自宅において電話等で相談を受け付けておりますが、「人権擁護委員の日」にあたり下記のとおり特設人権相談所が開設されます。

「人権擁護委員の日」特設相談日

日 時：6月4日（木） 午後1時～3時
場 所：馬頭総合福祉センター
小川総合福祉センター

相談内容：毎日の暮らしの中で起こる様々な問題、いじめ、体罰、女性・障害者に対する差別問題、家庭内（夫婦、親子、結婚、離婚、相続等）借地、借家、近隣の揉め事などどんな相談にも応じます。相談は無料で秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

問い合わせ：宇都宮地方務局烏山支局 ☎0287-82-2251
那珂川町総合窓口課 ☎0287-96-2111
那珂川町住民生活課 ☎0287-92-1112

平成20年度 情報公開及び個人情報保護の運用状況

町では、町政に関して町民に説明する責務を全うするとともに、公正で開かれた町政を推進するため、「情報公開条例」に基づき町の情報を公開しています。

また、「個人情報保護条例」により、町の保有する個人情報の適正な取り扱いと本人からの情報開示請求等に関する手続きを定め、プライバシーの保護に努めています。

これらの条例では、年1回の運用状況を公表することとしています。

情報公開条例（公開請求）

| 実施機関 | 請求件数 | 公開 | 一部公開 | 非公開 |
|-------|------|----|------|-----|
| 町長 | 2 | 2 | | |
| 教育委員会 | | | | |

個人情報保護条例（公開請求）

個人情報保護条例の開示請求はありませんでした。

お詫びと訂正

広報なかがわ4月号に誤りがありましたので、お詫びして次のとおり訂正します。

- ・13ページの総事業費を約25億9,600万円、国・県補助金を12億3,700万円、合併特例債を11億1,500万円、一般財源を2億4,400万円に訂正
- ・24ページの寄贈欄（社会福祉協議会振興振興基金）七万円 益子芳広様（大山田上郷）に訂正
- ・27ページのおくやみ欄 福島 公（62）浄法寺に訂正

広報文芸

俳句

陽炎や夢は彼方へ遠ざかり
野焼せし男ら老いぬ過疎の町
紋白蝶ひらりひらりと大河越ゆ
雲を吐く那須連峰や雁帰る
初音かな夫と聞く身のもどかしき
葬りゐて荒東風に髪乱さるる

盛泉 大金 遊水
松野 鈴木 君枝
馬頭 藤田 芳輝
小川 小川のぶ子
久那瀬 堀江 直子
吉田 国安 薫

短歌

広やかな丘に淡墨桜咲き満ちて国分尼寺の伽藍幻影
病窓に見えるこぶしの花咲きて尾長むらがり枝ゆらしあり
湯の宿の浴衣に着替え下駄履けば旅情が音となりて響ける
運ばれし焼立ての鮎息吹きつつ食めばかくはし芳香の魚
氷柱まだ融けざる崖の黒肌に露のとう萌ゆる那珂の源流
わが庭に春一番を告ぐる花黄色水仙今盛りなり

馬頭 藤田 文代
盛泉 佐藤 茂
和見 藤田 和夫
小川 郡司 喜恵
小川 古澤 實
小川 佐藤佳久子

川柳

夢でいい出会ってみたい人がいる
子が帰る頃に止まった救急車
鍋焦がし胸の鼓動がおさまらず
温室でざわめきたした鉢仲間
三度目の手術生命線を見る
バラそつな嘘に鼓動が早くなる

谷田 岡崎 友子
谷田 岡崎 甫子
小田 笹沼 季子
小砂 佐藤 有紀
大山田下郷 平澤 照雄
小川 大嶮 克明
薬利



新着図書

那珂川町 図書館

『派遣村 何が問われているのか』

宇都宮健児／編（岩波書店）



二〇〇八年十二月三十一日から翌年一月五日の間に、東京日比谷公園内に開設された「年越し派遣村」。そこには、雇用情勢の悪化で、職を追われ住処を失い、生存を脅かされている多くの人たちが集まった。かつてない注目を集めた派遣村は、なぜ必要とされたのか。そして、何を問いかけているのか。運営の当事者から研究者まで、様々な立場から、派遣村が投げかけた問いに応答する。

『極北クレイマー』

海堂 尊／著（朝日新聞出版）



財政破綻にあえく極北市。赤字5つ星の極北市民病院に、非常勤外科医の今がやってきた。院長と事務長の対立、不衛生でカルテ管理もずさん、謎めいた医療事故、女性ジャーナリストの野心、病院閉鎖の危機。はたして今中は、医療崩壊の現場を再生できるのか。医療エンターテインメントの新境地。

『月のえくぼを見た男 麻田剛立』

鹿毛敏夫／作（くもん出版）



「これがいつも見ていた月の表面か・・・」
反射望遠鏡の先に見えた月の地表面の光景に、剛立は言葉を失った。剛立がクレーターの様子をスケッチした図は、日本最古の月面観測図となった。
日本近代天文学の礎となった麻田剛立の生涯を、彼の生きた時代と支えた人びとのつながりの中で描く。

- ◇ 『咲くや、この花』 長野まゆみ／著（角川書店）
- ◇ 『商人』 ねじめ正一／著（集英社）
- ◇ 『こいしり』 島中 恵／著（文芸春秋）
- ◇ 『新・野性の証明』 森村誠一／著（角川書店）
- ◇ 『ひろいもの』 山本甲士／著（小学館）
- ◇ 『ステップ』 重松 清／著（中央公論新社）
- ◇ 『納棺夫日記』 青木新門／著（文芸春秋）
- ◇ 『ルナ・チャイルド』 ムーニー・ウィッチャー／著（岩崎書店）
- ◇ 『自分で作れるグミの本』 荻田尚子／著（文化出版局）
- ◇ 『釣りキチ三平・平成版』 矢口高雄／著（講談社）
- ◇ 『水木しげる妖怪まんが鬼太郎』 水木しげる／著（小学館）